

【22_035/思考系メルマガ】リスクをさらに『具体化』しよう

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

連日、自宅療養続きでご心配おかけしてます。。

相変わらずめっちゃ喉が痛くて声が出ない事を除けば、熱は微熱程度で済んでいるので喉の調子が戻ればスッと治るだろうと思っています。

幸い食欲はあるので「痛え～～！！」と叫び散らかしながら毎食しっかり食べてます(笑)

昨日の相場も、ロンドン時間あたりからチェックはしていたのですが

BOE、ECB 各政策金利が目白押しの日でもありちょっとやりづらい日でしたね。

今夜は雇用統計もあります。とはいえ、まだ2月も始まったばかりですし

つまらない損切ポジションを掴まされないように、落ち着いて乗れるところを探していきましょう。

□
└─ ■ 『リスク』とは何かを改めて考える

以前も、何かの機会に話をしたことがある話ですが

トレードに限らず、僕の中では認識できるリスクには大きく分けて2つの要素があると考えています。

それは <コントロール可能なリスク> と <コントロール不可能なリスク> です。

トレードにおいては、なるべく<コントロール可能なリスク>を最小限に抑えつつ

<コントロール不可能なリスク>を十分に吸収できる範囲でリスクを取りに行くことを心がけています。

一見、僕のトレードは徹底してリスクを回避しているように見えるかもしれませんが。

実際問題それは不可能で、エントリー後に目線が違ったとなれば 当たり前損切りすることになりますから

常に僕も『一定量のリスクを認識』しながらトレードをしています。

では、＜コントロール可能なリスク＞とは何を指すでしょうか？

代表例だけを挙げると

・『ロット』『損切りpips』から概算する ロスカット時の損失額

僕自身、これを一番重要視しています。

自分が今の相場に対してリスクを取ろうとしたときに「目標とする利益」を取りに行くのに

前もって把握した『リスクを取るほどの価値』があるかを量ることで

「本当にこのトレードを今やる必要があるか？」を考える事が出来ます。

割に合うと思えばやるべきだし、割に合わないと思えば見送れば良い。

これも一つの立派なリスクコントロールと言えます。

僕がしつこく、『利確目標』と『損切り位置』はエントリー前に決めるべきと言っているのは

この一連の考えがあるからです。

逆に、エントリーしてから損切り位置の根拠を決めようとする

損が膨らむのを怖がって、必要分の損切幅を置くことが出来ず「目線は合ってたのに切られる」という事が起こったり

「いや、まだ自分の大局の目線は崩れてない」と言い訳して、損切りを粘って大損してしまう。。

といった、笑い話にもならないような事態が容易に起こり得るわけです。

これはひとえに、『リスクの具体化』を怠った結果、取るべきでない必要外のリスクを取ってしまった結果です。

これを一回やってしまうだけでも、その損失を補うには大きな時間を必要とします。

まして、これを延々繰り返してしまつては、資金を増やすどころか
入金する度、毎回種銭を溶かして終わるのです。

実際、実力派なトレーダーの皆さんの話を聞いてみると

リスクの『事前把握』や『コントロール』

これらの術を各々なり、明確にルールの中に組み込んで計画的に運用されています。

目先の手法だけでなく、そのような点にフォーカスして日々の発信に注目すると
もっとトレードに対する視野が広がり、戦いやすくなると思います。

今回長くなってしまったので、＜コントロール不可能なリスク＞については
次回のメルマガで話をします。

それでは、また次回のメールで！

P.S. 今回、ポイントプレゼント用に丁度いいリンクが用意できなかったので

モーニングライブの再生リストを共有しておきます(意外と知らない方が多いようなので)

ランダム再生で聴いたり、プレイリストとしても活用できますので 良ければどうぞ(笑)

https://youtube.com/playlist?list=PL_X_7EyFOHvFHfDhIIGJXVQgmnEmfWRAH